

囲まれており、四季折々の風景がとても美しいと感じています。

市長 なるほど、方言や文化の違いに新鮮な驚きがあったんですね。櫻庭さんはどうですか？

櫻庭 青森出身なので、方言の違いには戸惑いもありますが、徳島の方々が自分たちの方言を誇りに思い、自然に使っているのを見て感心しました。また、自然豊かな生活は心地よく、特に山々の美しい景色には魅了されました。そして、吉野川市には絵画や音楽など、さまざまな趣味を持つ人が多く、そうした文化的な活動が活発で刺激を受けています。

市長 確かに徳島の人々は方言を大切にしていますからね。林さんはどうでしょう？

林 私も方言には少し苦勞しましたが、吉野川市の自然や景色には感動しました。毎朝、吉野川沿いをランニングするのが日課なのですが、その美しい風景に心が癒されます。また、地域のイベントなどに積極的に参加している人が多く、市民の方々の意欲に感心して

今後、取り組んでいきたいこと

熱心に取り組んでおられて、吉野川市としても心強く思います。

市長 では、今後挑戦したいことや目標についても聞かせください。谷内尾さん、お願いします。

谷内尾 現在、山川中学校の授業で美術を教える機会をいただいているのですが、今後は、中学校での美術教育にもっと携わる機会を増やしたいと考えています。美術大学での経験を生かし、子どもたちに美術の楽しさを伝え、地域の文化活動に興味を持ってもらえたらと思っています。また、吉野川市内で美術を学べる環境を整えることにも力を入れたいと考えています。

市長 教育分野への貢献も考えておられるんですね。続いて、櫻庭さん、これからの目標について教えてください。

櫻庭 和紙の技術をさらに磨き、熟練の職人の技を継承していきたいと考えています。また、農業に



▲草刈り作業を行う林隊員

います。

市長 皆さん、吉野川市の魅力を感じてくださっているようですね。ありがとうございます。

今、取り組んでいること

市長 では、現在取り組んでいることについても聞かせください。林さんからお願います。

林 私は現在、徳島北部森林組合で林業に携わっています。具体的



▲アーティストの拠点となる空き家リノベーションを行う谷内尾隊員

も関心があり、少しずつ畑仕事も始めていきたいと思っています。JA（徳島県農業協同組合）に勤務する地域おこし協力隊の須藤隊員とも相談しながら、今後の準備を進めているところです。

市長 和紙と農業の両方で地域に貢献しようとする姿勢が素晴らしいですね。最後に、林さん、今後挑戦したいことについて教えてください。

林 まずは重機の資格を取得し、

には、チェーンソーを使った木の伐採や、枝打ちの作業などです。林業は体力が必要ですが、その分、やりがいも感じます。今後は、重機の資格も取得して、さらに専門性の高い仕事に挑戦したいと考えています。

市長 林業の現場はまさに自然と向き合う仕事ですね。資格の取得にも意欲的で頼もしいです。櫻庭さん、今取り組んでいることを教えてください。

櫻庭 私は現在、和紙の伝統技術を学んでいます。特に和紙の製造工程に魅力を感じており、その深い技術に触れることで日々新たな発見があります。阿波和紙は海外からも注目されており、観光客からも好評をいただいているので、その魅力を伝える活動にも力を入れています。

市長 和紙は吉野川市の伝統工芸の一



▲和紙原料(雁皮)の処理作業を行う櫻庭隊員

林業のプロフェッショナルとしてスキルを高め、林業の現場でより大きな役割を担えるようになりたいと考えています。また、林業は一人での作業が多いので、地域の他の方々と協力し、森林資源の活用や環境保全の観点からも貢献できればと思っています。

市長 林業は吉野川市にとっても重要な産業ですから、地域の方々と一緒に発展させていけるといいですね。皆さんそれぞれが素晴らしい目標を持っておられて、吉野川市にとっても大きな力になります。私たちも地域おこし協力隊の皆さんを全力でサポートしていきたいと思っています。

ご存じのとおり、徳島県内で最も多く地域おこし協力隊を受け入れているのが吉野川市で、現在11名が活動しています。

先ほど須藤隊員の話も出しましたが、皆さん同士で横のつながりを築き、お互いに刺激し合ってもらいたいと思います。年に1〜2回は隊員同士の交流の場も設けていきたいと考えています。

各職場でさまざまな苦勞があるかと思いますが、地域おこし協力隊の人数が増え、良い循環が生まれつつあります。吉野川市全域に地域おこしの動きが広がり、どの地域でも「何かおもしろいことをやっているな」という活気ある雰囲気を作っていきたいと考えています。

今後は皆さんの活躍に期待しています。頑張ってください。

